

2022年度 第3回運営推進会議

2022年9月12日(月)
地域密着型介護老人福祉施設
越谷なごみの郷
C館 多目的室

運営推進会議の趣旨

I. 運営推進会議の目的

1. 事業所運営の透明性の確保
2. サービスの質の確保
3. 事業所による「困り込み」の防止
4. 地域との連携の確保

II. 地域密着型サービスの役割

- ① 本人本位の支援
- ② 継続的な支援
- ③ 地域で暮らし続けることの支援
- ④ 地域との支えあい等を理念とする地域密着型サービスは、入居者・利用者のより良い暮らしを着眼点に本人と地域との関係を断ち切らない支援

上記の役割を担うため、事業所と地域との良好な関係を築き、事業所が提供するサービスが、住民ニーズに即した価値のある地域資源として機能していく必要がある。利用者がどのような暮らしを望み、これからサービスを利用するかもしれない住民が何を期待しているのかを知らなければならぬ。

運営推進会議は、事業所と地域との関係をつなぐ一つの手段であり、地域密着型サービスを「事業所と地域住民とが一緒に育てていくことを目的に行っていく。

1. 介護老人福祉施設

【運営状況報告】

● 介護老人福祉施設 7月13日～9月11日までの入居・退居状況

入居者	退居者	在籍者
0名	0名	29名

● 平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
86歳	4.07

● 人員体制 人員配置基準(2.5 : 1)

入退職者・異動職員	地域密着型施設の職員数	現在夜勤可能職員数 夜勤専従
入職者=0名 退職・異動者=0名	21名(前回比-1名) 常勤換算数:16.7人 配置基準3:1割合(2.27:1)	夜勤可能職員数11名(5回) 夜勤専従1名(10回～11回) 夜勤配置2人配置

● 教育・研修等

※ その他、今年度も法令に沿った研修を実施予定

● 活動状況・予定

活動状況	・新型コロナウイルス感染対策の為、活動は実施できず、命を守るケアについて、改善活動計画書を活用し、計画の立案、実施、効果測定を行っている。
ユニット会議 リーダー会議	・ユニットフロア会議：新型コロナウイルス感染対策を行いつつ実施 ・ユニットリーダー会議：新型コロナウイルス感染対策を行いつつ実施
研修	・研修 新型コロナウイルス感染対策を行いつつ実施

●事故その他・・・

①7月14日（木）0時50分頃

発生状況：他利用者のオムツ交換時にナースコール（離床センサー）が鳴った為、訪室をすると右側臥位にて転倒している主を発見する。

再発防止策：離床センサーの設定を起き上がりから体動時に設定を変更する。

②7月25日（月）9時35分頃

発生状況：トイレより「誰か」と声が聞こえたため、訪室すると便座から転落されている主を発見する。

再発防止策：トイレに座っている際は、職員は離れずに必ず付き添いを行う。離れなければいけない状況では必ず他職員に声をかけ付き添う

③8月10日（水）22時35分頃

他利用者のオムツ交換時にナースコール（離床センサー）が鳴った為、訪室をすると右側臥位にて転倒している主を発見する。

再発防止策：ベッドから導線を確保するため、タッチアップを設置する。

3. 認知症対応型デイサービス

● 7月13日～9月11日までのまでの状況

新規利用者	契約終了者	在籍者
2名	3名	13名（男性3名・女性10名）

※調理活動が出来なくなっているが、その分広いホールを利用した歩行訓練や機能訓練体操など今まで中々出来なかった事が行えてきている。

新規の問い合わせや外部ケアマネジャーの見学などもあり、認知症対応型の特色をご紹介し新規契約に繋がれるよう努めている。9月より、従来 DS 利用していた利用者さんの状態変化により、認知症対応型への移行につながる事例があった。

●平均年齢と平均介護度

平均年齢	平均介護度
86.3歳	3.4

●認知症高齢者日常生活自立度

自立度	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	0	1	2	3	4	3	0

I	「何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している状態」 基本的には在宅で自立した生活が可能なレベルです。
II a	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭外で多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態」
II b	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが家庭内で見られるようになるが、誰かが注意していれば自立できる状態」
III a	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが主に日中を中心に見られ、介護を必要とする状態」
III b	判断基準「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが夜間にも見られるようになり、介護を必要とする状態」
IV	「日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態」
M	「著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする状態」

●職員体制

入職者・異動職員	退職者・異動職員	職員数
入職者＝0名 異動者＝0名	0名	5名 (管理者、兼務職員、運転職員含む)

●事故・苦情の発生状況

種別	件数	事象	内 容
事故	1件	転落	入浴前にトイレに入り、時間を見て扉を開けたところ床に転落していた。顔面を打っていたため、検査を行ったところ異常はなかった。

2022年度の目標

事故防止や業務等の不具合を早期発見する視点を強化し課題等に気付き改善に取り組める
(車両事故ゼロ、苦情ゼロ、介助中のマンツーマンの事故ゼロ)

●教育・研修等

活動状況	コロナ対策の為、従来型 DS での営業を行っている
会議等	コロナ対策を行いつつ、正規職員・相談員間で行う朝礼での情報共有
研修	内部・外部の研修が決まり、各自随時受講していく。

※ その他、今年度も法令に沿った研修を実施予定

●ご家族からの声など

	内 容
	特になし

地域密着型サービス運営推進会議の記録

会議名称 : 2022年度 第3回運営推進会議
事業所名 : 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷
サービス種類 : 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
認知症対応型通所介護
会議開催日時 : 2022年9月12日 (月) 10時00分 ~ 10時10分
会議開催場所 : 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷 多目的室

《運営推進会議出席者》

入居者	0名
地域住民の代表	0名
知見を有する者	0名
地域包括支援センター職員	0名
事業者	6名

《議 題》

- 運営推進会議構成員の紹介
- 2022年7月13日～2022年9月11日までの活動状況の報告

《活動状況の報告》

- 介護老人福祉施設における2022年7月13日～2022年9月11日 までの、利用状況活動内容等の報告(大澤)
- 認知症対応型デイサービスにおける2022年7月13日～2022年9月11日 利用状況・活動内容等の報告 (管理者名原)

《要望、助言、意見等》

大澤にて、運営推進会議の趣旨の説明
大澤にて、第2回運営会議推進会議録資料に沿って、報告

参加者、説明に対し理解し了承する。

《資料等》

- 運営報告
- 2022年7月13日～2022年9月11日までの活動報告

《次回の会議》

- 次回議題
 - ・ 2022年9月13日～2022年11月13日までの活動、状況報告
 - ・ 運営等についての意見交換
 - ・ 地域密着型の主旨に基づいたサービス提供ができているかを基本に、地域活動を含め協議していく。
- 次回開催月日 2022年11月14日 (月)
- 次回開催場所 地域密着型介護老人福祉施設 越谷なごみの郷 3F 研修室